



都 第 10 号  
平成19年5月8日

国土交通省道路局長殿

山 北 町



中期的な計画の作成にあたっての意見提出(回答)

平成19年4月2日付け〔国道企第114号〕で依頼のありました標記  
について、別紙のとおり回答いたします。

(事務担当は、産業建設部都市整備課管理計画班)

住 所 神奈川県足柄上郡山北町山北 1301-4

電 話 0465-75-3647(直通)

F A X 0465-75-3661

## 中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

- ・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

### <意見>

#### 【(仮称)小田原甲府線整備計画の山北町―道志村トンネル整備について】

- 現在、神奈川県西部（山北町）と山梨県東部（道志村）は地形的な制約があり、隔てられている状況にあります。
- このため、平成12年度より近隣2市6町2村（※1）参加のもと「広域交通拠点整備計画調査研究会（現在は(仮称)小田原甲府線整備計画調査研究会）」を開催し、神奈川県西部と山梨県東部を結ぶ路線（※2）についての調査研究を進めているところです。
  - ※1 神奈川県側：小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町  
山梨県側：道志村、山中湖村 静岡県側：小山町
  - ※2 路線名については(仮称)小田原甲府線としていますが、小田原市から山北町・道志村を通過し、中央高速道路上野原ICまでのルートです。
- (仮称)小田原甲府線は富士箱根伊豆交流圏における南北軸のインフラの整備構想として、富士箱根地域の新たな道路交通網として東名高速道路、中央自動車道、主要国道（1号、413号）などを結ぶ南北軸を整備・強化することで、道路密度の薄い山梨・静岡・神奈川の県際部に新たな交流を生み、広域連携・地域の活性化また防災面の強化などにつなげようとするものです。
- 研究会において、この路線の特に重要な位置付けとして山北町・道志村間のトンネル構想を打ち出していますが、その整備財源については町村レベルで対応できるものではなく、国レベルでの整備が不可欠になると考えます。

#### 【東名鮎沢パーキングエリアスマートインターチェンジ設置構想に係るアクセス道路の整備支援について】

- 東名鮎沢PAのスマートIC整備構想につきましては、御殿場ICと国道246号の渋滞解消や周辺地域の土地利用の促進による活性化などを目的として、山北町及び隣接町であります静岡県小山町からの強い要望により、平成16年度の国土交通省で実施されました社会実験の候補箇所登録が行われ、平成17年度からは調査研究会を設立し、神奈川県を始めとする関係機関との議論の中で、スマートICの「必要性・効果・アクセス道路の基本方針等」について調査研究を現在進めているところです。
- この研究会の中で、国道246号線から鮎沢PAまでのアクセス道路について、距離が長くまた狭い区間があり相当な整備費用となることが特に重要な課題となっています。
- 整備に事業費をあまりかけないというスマートICの主旨は理解しておりますが、一方、当地域においてICの設置は重要な課題でもあります。
- つきましては、アクセス道路を整備する財源としての補助メニューの創設を検討していただきたく意見します。

- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

〈意見〉

【国道 246 号向原バイパス工事の早期完成について】

- 国道 246 号向原バイパス工事については、盛土工事、仮歩道設置と準備を進め平成 19 年 1 月に町道中里線跨線橋新設工事等に着手されました。このバイパス工事は、JR 御殿場線との関係から本線工事を含めると工事期間が 3 年となるため、JR 御殿場線を利用している山北高等学校の生徒や周辺住民には長い期間南北を寸断され、不便を強いられる事となりますので、一日も早いバイパスの完成を目指し計画的な工事の推進をしていただきたく意見します。